

6 - 14 上宝における最近の地殻変動 (1983年7月～1984年9月)

Ground Deformations Observed at Kamitakara (July, 1983 - September, 1984)

京都大学防災研究所

上宝地殻変動観測所

kamitakara Crustal Movement Observatory

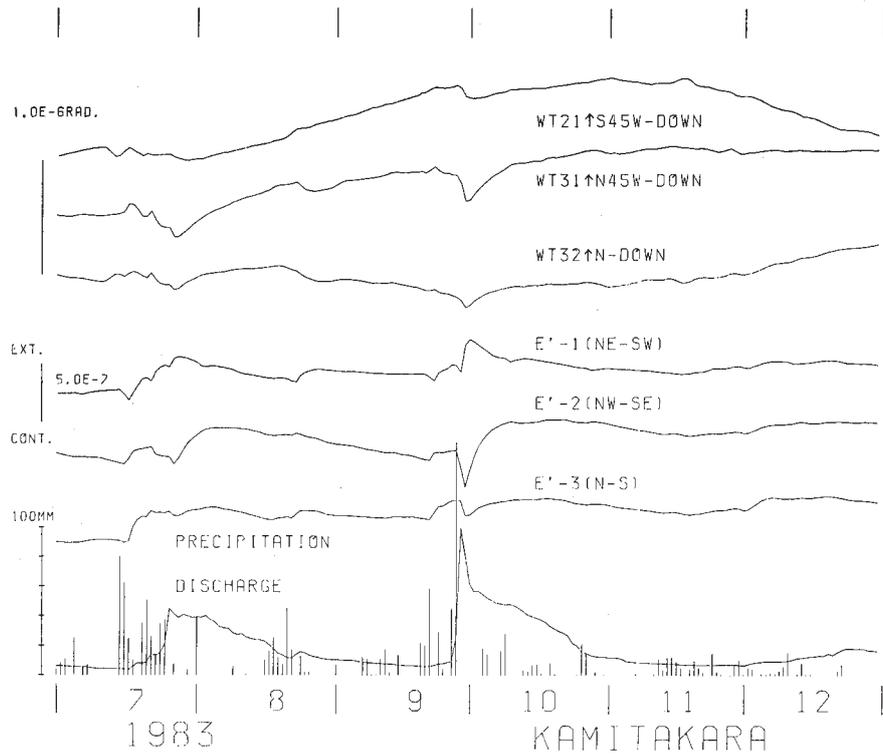
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

第1図に、1983年7月から12月までの歪・傾斜変化、降水量、坑内湧水量を示す。歪計の解析には、25mの地点に設置してあるセンサ、E' - 1, E' - 2, E' - 3の記録を用いている。歪・傾斜変化とも湧水量、降水量の影響が大きいが、これらの影響を除けば特に顕著な変動は見られない。

第2図には、1983年9月17日から1984年9月17日までの1年間の結果を示してある。9月14日に発生した長野県西部地震時における歪・傾斜ステップが含まれている。地震発生直前までの歪・傾斜永年変化には、湧水量、降水量の影響を除けば、特に顕著な変動は見られず、1978年5月から1983年6月までの永年変化¹⁾に滑らかに接続している。

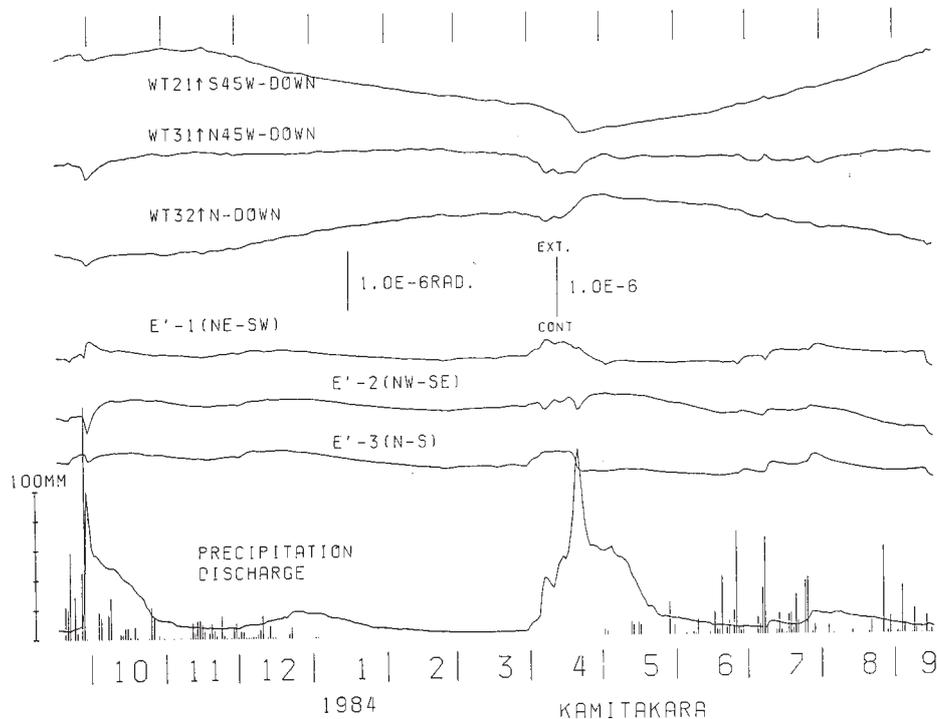
参 考 文 献

- 1) 京大防災研究所上宝地殻変動観測所：上宝における最近の地殻変動（1978年5月～1983年6月），連絡会報，**31**（1984），446 - 449.



第1図 上宝における歪変化，傾斜変化，坑内湧水量および降水量（1983年7月～1983年12月）

Fig. 1 Daily values of crustal strains observed with three components of strainmeters (E'-1, E'-2 and E'-3), crustal tilts observed with three components of water-tube tiltmeters (WT21, WT31 and WT32), discharge of underground water, and precipitation (July - December, 1983).



第2図 上宝における最近1年間の歪変化，傾斜変化，坑内湧水量および降水量（1983年9月17日～1984年9月17日）

Fig. 2 Daily values of crustal strains observed with three components of strainmeters (E'-1, E'-2 and E'-3), crustal tilts observed with three components of water-tube tiltmeters (WT21, WT31 and WT32), discharge of underground water, and precipitation (September 17, 1983 - September 17, 1984).